補助金評価シート

区分	重点 重点以外	補助根拠	法令補助 ・ その他補助	開始時期	令和4年4月1日	終期	令和7年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]		新潟市民芸術文化会館レジデンシャル事業補助金 市民の芸術文化活動の振興を図るため、専属契約を締結したアーティスト等が本市に居住しながら、会館を拠点に年間を通して創造活動等を行い、創造された舞台芸術作品を会館及び国内外において公演等を行うとともに、市民の文化芸術活動の振興に貢献する継続的な取り組みを対象に補助を行う。					
款・項・目		総務費・総務管理費・文化振興費					
所属等		文化スポーツ部 文化政策課 管理チーム 電話025-226-2560					

年 度		令和4年度（1年目）		令和5年度（2年目）		令和6年度（3年目）	
予算額等の推移	予算(千円)	47,000		47,000		47,000	
	決算(千円)	46,506		46,698		47,000	
補助率		33.9%		35.0%		42.9%	
目 標		<p>会館及び本市のプレゼンス向上に寄与するとともに、市民の文化芸術活動への支援と新たな鑑賞者の増加を図り、もって本市の芸術文化活動の基盤の充実を図り、本市の文化振興に努める。</p> <p><目標が数値でない場合の評価方法>（公財）新潟市芸術文化振興財団が別に定めた「レジデンシャル事業評価指標」の達成状況等を踏まえ、レジデンシャル制度の目標「リ्यूーとびあ及び新潟市のプレゼンスの向上」「市民の文化芸術活動への支援と新たな鑑賞者の増加」「地方都市から舞台芸術を創造・発信する取組みの波及」に寄与しているか総合的に評価する。</p>					
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上						
	達成率 80%以上						
	達成率 50%以上						
	達成率 50%未満						
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	レジデンシャル事業の実施を通して、新潟公演の鑑賞者満足度やアウトリーチ参加者満足度等、（公財）新潟市芸術文化振興財団が別に定める「レジデンシャル事業評価指標」を達成しており、レジデンシャル制度の目標の実践に寄与した。特に「新潟」をテーマとした舞踊作品により、国内のネットワークの形成と観客層の拡大した。 （参考実績）18thシーズン 新潟公演数 4回 アウトリーチ回数 12回 オープンクラス回数 20回 他団体との連携企画数 6回	レジデンシャル事業の実施を通して、新潟公演の鑑賞者満足度やアウトリーチ参加者満足度等、（公財）新潟市芸術文化振興財団が別に定める「レジデンシャル事業評価指標」を達成しており、レジデンシャル制度の目標の実践に寄与した。特に、学校向けの特別公演やアウトリーチ等により、将来的な新たな鑑賞者の開拓を図った。 （参考実績）19thシーズン 新潟公演満足度 96.5% アウトリーチ満足度 98% オープンクラス満足度 100% 他団体との連携企画数 5回	レジデンシャル事業の実施を通して、新潟公演の鑑賞者満足度やアウトリーチ参加者満足度等、（公財）新潟市芸術文化振興財団が別に定める「レジデンシャル事業評価指標」を達成しており、レジデンシャル制度の目標の実践に寄与した。他団体との連携企画数も増加しており、国内のネットワークを形成しながら文化振興に努めている。 （参考実績）20thシーズン 新潟公演満足度 96.6% アウトリーチ満足度 98.5% オープンクラス満足度99.5% 他団体との連携企画数 9回			
補助事業者による情報の公表		（公財）新潟市芸術文化振興財団ホームページ					

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	○	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	×
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> <g～hにおける取組> g: レジデンシャル制度において、別に定める「レジデンシャル事業評価指標」の達成状況等を踏まえて、総合的に制度の目標達成に寄与しているかを評価することとしていることから、本補助金についても総合的な評価を行う。			
	目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>			
① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止					
①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 質の高い舞台芸術作品の創造・発信と市民や地元の様々な団体等との交流・連携、国内他館との共催・受託等による協力関係の構築を通して、レジデンシャル制度の目標の実践に大いに寄与していることから、レジデンシャル事業への補助を継続すべきと考える。					